



もちだしの
持田 詩乃さん(東町)
おうき
旺毅くん

「近所に住む人やママ友、子育て支援センターには、いつも感謝しています」と話す持田さん。

自然豊かで子育て環境に恵まれている

昨年まで京都府で福祉関係の仕事をしていたと話す持田さんは、今年4月に夫の仕事の都合で本市へ引っ越してきたといいます。「このまちに住んでみて、とても暮らしやすいまちだなと感じました。都会と違い、自然が豊かで騒音もありません。子育てする環境は恵まれていると思います。住民の皆さんも良い人ばかり。近所の人がとても親切にしてくるんですよ」とニコリ。

長男の旺毅くんは、持田さんにとって初子。日々の子育てを振り返り、「初めての子育ては楽しいです。でも、家で子どもと二人きりになると精神的につらくなるときがあります。閉ざされた空間にいると、外の世界から隔離されたような気分になるんです。そんなときに子育て支援センターに来ると、子どもと触れ合う以外のことを何も考えなくていいので、家に

いるときより子どもと深く関わることができるとです。だから、ほぼ毎回お世話になっていきます。ここではママ友をつくることもできます。子育てをしていて、どうすればよいかわからないことや悩んでいることを相談できるんですよ。公的な施設には質問をしやすいこともありすからね。これからも周囲の人にお世話になりながら子育てを楽しみたいです」と話しました。

と話を聞きました。



▲高松保育園内にある子育て支援センター「にこにこランド」で実施された「よみきかせ会」

いかがですか？

育児に対する本音を聞きました



むらかみともえ
村上 友絵さん(桜ヶ池)
るい
瑠唯ちゃん

「このまちに住んでいるのは親戚な人ばかり。そのため、親しみやすいのが良いところです」と話す村上さん。

公園や子育て支援センターはお母さんの味方

「このまちの良いところは、住んでいる人が親しみやすいところですよ」と話す村上さんは、このまちで生まれ育ちました。

「自分の家族や同級生だったママ友が近くに住んでいて、困ったときに相談に乗ってくれたり子どもを預かったりしてくれるので、本当に助かっています。その点では、市外から来たお母さんたちよりは楽をさせてもらっていますね」と笑顔を見せます。

村上さんは、子どもを遊びに連れていくときは、近所の公園を利用するといいます。「このまちには、おさ川ふれあい公園や高松緑の森公園、八千代公園、あらかわふる里公園など、小さな子どもでも楽しめる公園が数多くあるのでありがたいです。0歳児でも利用できる遊具が少ない中、八千代公園にあるブランコは小さな子がいつも楽しそうに遊んでいますよ」

と話します。また、公園だけでなく地域の子育て支援センターも利用しているといいます。村上さんは同センターについて、「施設は広いし、先生が手作りしたおもちゃなどもたくさんあるので、子どもは喜んで遊んでいます。先生も上手に子どもと接してくれたり、お母さんの悩みを聞いてくれたりします。先生の話には説得力があるので、つい話し込んでしまうんですよ」と語りました。



▲さくらこども園内にある子育て支援センター「さくらんぼ」で子どもと一緒に工作しながら親同士の交流を楽しむお母さん